

# ホテル京阪

「ホテル京阪」ブランドの都市型ホテルを関西を中心に多数運営。京阪グループ全体で進める「BIOSTYLE PROJECT」（人にも地球にも良いことを無理なく楽しむ循環型社会づくり）に参画し、SDGs達成に向けた様々な施策を展開している。全ホテルで統一的なサステナビリティ施策を推進し、環境保護と顧客サービスの両立を図っている。

## 【会社概要】 ※2025年3月時点

会社名 | 株式会社ホテル京阪  
本社所在地 | 大阪市中央区大手前1丁目7-24  
京阪天満橋ビル3階

事業内容 | 旅館業  
従業員数 | 386名

## 『脱炭素経営を実践している事例紹介』

### 『京阪グループとしての強力な環境保護活動の推進』

京阪グループでは、SDGsの達成に貢献すべく「BIOSTYLE PROJECT」に取り組んでいます。環境保護の一環として、ホテル京阪グループの全施設で、シーツ・カバー類の交換を2日おきに行う「エコ清掃」を実施、一部ホテルでは省エネにつながる空調へのAI制御システムを導入するなど、様々な取組を推進しています。

これらの取組の成果は、京阪HDの統合報告書を通じて対外的に発信しています。

### 環境に優しい（洗剤を使わない）ランドリー導入で環境貢献

ユニバーサル・タワー（大阪）や札幌店等で、洗剤不要の業務用洗濯機を導入。アルカリ電解水のイオンの力で汚れを落とす方式で、従来の洗剤による環境負荷を低減し、水資源節約にも大きく寄与する最新設備です。すすぎ工程が不要なため排水がクリーンなだけでなく、水使用量も通常比で約80%の削減を実現しています。旅先での洗濯をスマートにするIoT技術を採用しており、完全キャッシュレスで多言語表記に対応しており、従業員の使い方案内や両替対応等の負担軽減にもつながっています。



### ごみの削減や省資源化・脱炭素につながる取組を細部にわたり推進

使い捨てプラ製品の削減策として、館内レストラン等でストローを生分解性素材に切替え、客室アメニティは必要な分だけロビーから持ち出す方式に変更。この取組によりアメニティの未使用廃棄を減らし、使い捨てプラスチック量を削減しています。また、厨房には節水バルブを設置して効率的な水利用を推進。さらに産業廃棄物やフロン漏洩量をデータ管理・自治体報告することで温室効果ガス排出抑制に努めるなど、細部にわたり省資源化の取組を行っています。

